

# ふるさと再発見未来塾

今年、環境（エコ）について学習し、自分たちが身近にできる事を考えようという目的で、七月二十五日（金）八月十八日（月）八月二十六日（火）の三日間、京丹後市内の様々な環境関連施設等を見学しました。久美浜町内の小学校三年生から六年生の子どもたち八名の参加があり、一班から四班にわかれ、各班それぞれに配られたレンズ付きフィルムを持ち、各班を中心に写真を撮ったり、分かったことを見学アルバムに書きとめました。また、第三回目の午後からは、たくさん撮った写真を切り貼りして見学アルバムを完成させ、班でのまとめをしました。

少し難しいテーマでしたが、講師の方々の分かりやすい説明と、自分たちで体験（実験）をすることで、環境（エコ）について楽しく積極的に学習することができました。

風の学校きょうと（第1回の様子）



琴引浜（第2回の様子）



国営農地（第3回の様子）



まとめの様子



## 今後の行事予定

ニユースポーツ教室

【日程】十月二十四日・十一月七日・十四日（全て金曜日）

【場所】午後八時から午後十時 久美浜中学校体育館及びびグラウンド

【種目】きばれえ・ペタンク！お気軽にご参加ください！

久美浜町文化祭

《展示の部》

【日程】十一月一日（土）十一月二日（日）

【場所】久美浜小学校体育館

【内容】文化協会員展示・一般展示・児童作品展

《合同公演の部》

【日程】十一月三日（祝）

【場所】久美浜小学校体育館

【内容】文化協会員舞台発表

久美浜ソフトバレーボール  
秋季大会

【日程】十一月二日（日）

【場所】久美浜高校体育館

参加申込等の詳細は、後日ご案内します。

# 館報くみはま

第 2 号  
20.9.25発行  
TEL 69-0666

くみはまの夏の自然を満喫！

## 親子のふるさと教室

七月二十日（日）に、親子のふるさと教室を今回は『ふるさとの夏を求めて』をテーマに、箱石浜海水浴場にて実施しました。

当日は、好天に恵まれ、午前中は「海辺の生き物探し」をしました。網とバケツを持ち、海の中や岩の間を一生懸命探しました。中には海の中へはいつ探している子も。いろいろな生き物を見つけることができました。

昼食後、「砂丘の植物探し」：箱石浜に自生している植物を観察しながら、富川淳志氏のお話を聞きました。十三家族・三十七名の参加があり、楽しく一日を過ごすことができました。



## 「きょうたんご地域探訪」 久美浜編 第二講座を実施

七月十三日（日）に「きょうたんご地域探訪」久美浜編 第二講座を実施しました。

久美浜東部地域を探索地として、午前の部は、川上地区を中心、湯舟坂二号墳、平野古墳、三嶋田神社、奥山のタタラ跡を訪れ、昼食を奥山の茶屋あそび石でとりました。

午後の部は、場所を佐濃地区に移し、雲松寺跡タラヨウ、円頓寺、売布神社を巡り、第二講座を終えました。

蒸し暑い日でしたが、参加者の方々は久美浜の歴史遺産についてのお話を熱心に聞き入っておられました。



# 夏休み子ども体験活動！ 子どもサバイバルキャンプ

七月三十日（水）から八月二日（土）までの四日間、久美浜町内の小学校五・六年生を対象に子ども体験活動「子どもサバイバルキャンプ」を、

副班長・食事長を決めました。

普段の生活から離れ、自然の中で同年代の子ども達が一緒に生活していくことで、自然や仲間の大切さを感じ、自分たちの力で行動する力を育てることを目的として実施しました。



キャンプ初日は、開校式・班別ミーティングの後、三泊する自分たちのテントをみんなで協力して設営しました。その後、竹を使って食器や箸をつくり、班ごとにメニューを決め、一生懸命作った料理をその器に盛りいただきました。

二日目は、「いさなこ山」を登るため、朝食後、バスに乗りいざ出発！

天女の里を過ぎたところでバスを降り、登山口を指して約二キロある道のりをひたすら登っていきました。登山口に到着して、一〇〇段の階段を前に少し休憩。お茶の補給とお昼ご飯のお弁当を受け取り、少し重たくなったりリュックを背負って階段を登り始めました。途中、大きなミミズがいたり、だんだん急になっていく階段に悪戦苦闘しながら、山頂に到着。そこには絶景がまつていました。下山後、バスに乗り、網野町新庄にある「霧降の滝」へ行き、マイナスイオンたっぷりの中、裸足になって水遊びをし、登山での疲れを癒しました。



三日目は、蒲井で海水浴です。ジャンプ台からとんだり、砂浜で遊んだりと前日の登山の疲れを感じさせず、元氣いっぱい遊び、みんな顔から手足まで真っ赤に日焼けしました。

蒲井海水浴場からキャンプ場へ戻ると、バーベキューパーティーです。肉や野菜を焼く係、食べる係、班によっては男の子達が女の子達のために一生懸命肉を焼いてあげたり、キャンプ最後の晩ご飯はあたりが暗くなるまで続きました。



キャンプ最終日の朝になりました。連日のハードスケジュールで疲れが溜まっているせいか、起きてテントから出てくる足取りもおもたそう。

朝食後は、キャンプ場にある人口浜から浜公園までのドラゴンカー体験です。漕ぎ手八人がパドルをもち、みんなの「一、二」のかけ声と太鼓の音に合わせて、漕いでゆきます。三艇とも息の合った漕ぎっぷりであつという間に浜公園に到着しました。

ドラゴンカー体験を終え、キャンプ場に戻ると、疲れもピークですがテントの片付け・掃除を協力し、帰る準備を最後まできちんとやりとげました。

閉校式をした後、四日間一緒に生活してきた仲間たちとわかれ、家族の方のお迎えでそれぞれの家に帰りました。三泊四日のキャンプ、慣れない環境と友達に、始めは口数も少なくお互いが遠慮していました。しかし、お互いが協力しないと何もできないこのキャンプでは、その内すぐに打ち解け、助け合い、励まし合うことができるようになりました。

それぞれの班が仲よく、また全体としても、何事もまとまって行動することができ、連日の猛暑の中でしたが、大きなケガや事故もなく無事キャンプを終えることができました。

